

6. 交通環境の現状と課題

(1) 交通環境に関する現状

ア 公共交通の利用環境が良い

本地区は、東急東横線の渋谷駅まで3駅、約7分で極めて交通利便性の高い地域です。また、平成25年からは東京メトロ副都心線との相互直通運転が開始されたことや、隣接駅である中目黒駅が東京メトロ日比谷線との乗換駅となっており、都心の主要な駅まで約30分程度で移動できます。

祐天寺駅には、目黒駅と三軒茶屋駅を結ぶバスの乗り場があり、鉄道とバスが接続する交通結節点として重要な役割を果たしています。また、地域の中核病院を担う三宿病院の送迎バスがあります。さらに、駒沢通りに恵比寿駅と用賀駅を結ぶバス路線と、渋谷駅東口と洗足駅を結ぶバス路線があります。

イ 駅前広場の利用状況に変化の兆しがあります

目黒区内の東急東横沿線の駅前広場は、祐天寺駅、自由が丘駅などがあります。

ただし、駅舎が整備され、歩行者動線が変化していることから、平成29年度に地元から区へ改善に関する要望書が提出されています。なお、駅前の花壇は地域住民による維持管理が行われていますが、管理されている方々の高齢化による維持管理の負担が増加しているとの指摘があります。

さらに、荷捌き車両や路上駐車など、駅前広場の整備当時には想定していなかった問題が生じています。



ウ 祐天寺駅前通り（通称：本通り）がバスの運行ルートになっています

祐天寺駅と駒沢通りを結ぶ本通りは、本地区の中でも商業集積が進んでいる一方で、主要生活道路※に位置づけられ、バスルートになっています。バス・自動車・自転車等と歩行者の接触の危険性が指摘されています。

※主要生活道路は通過交通を抑制し、居住環境区域の交通を集散することで外周道路と結ぶ道路です。震災時において地区内の防災機能の主軸となります。



工 駅周辺における放置自転車・放置バイクが通行の妨げとなっています

本地区には、目黒区が祐天寺西口第一駐輪場、祐天寺西口第二駐輪場、祐天寺南高架下駐輪場の3箇所の駐輪場を設置しており、合計840台分の駐輪が可能です。

また、民間の駐輪場が3箇所、計177台分の駐輪場を設置しており、公設、民設の計で1,017台の駐輪場を設置しており、需要数はほぼ満たしています。

しかし、一部地域では放置された自転車やバイクが見られ、歩行者の妨げとなっています。

	駐輪台数（平成30年10月時点）			
	設置者	総数	自転車	原付
祐天寺駅西口第一駐輪場	目黒区	613台	606台	7台
祐天寺駅西口第二駐輪場	目黒区	114台	114台	0台
祐天寺駅南高架下駐輪場	目黒区	113台	113台	0台
三菱UFJ銀行祐天寺支店	民間	72台	72台	0台
みずほ銀行祐天寺支店	民間	18台	18台	0台
祐天寺東急ストア駐輪場	民間	87台	87台	0台
計	—	1,017台	1,010台	7台

オ 幅員の狭い道路が多く、通過交通の流入や自動車交通の集中が見られます

本地区には、幅員が狭く、蛇行した道路が多くみられます。区画道路の一部に一方通行など交通規制区間がありますが、祐天寺駅通りなど主要生活道路以外にも通過交通の流入が起きています。

朝夕の小学生等の通学の時間帯は車両進入禁止となる区間もあり、交通規制を通じた安全な通学環境の確保への取組が行われています。

(2) 地域の声

街頭アンケート等を行いました。アンケート調査等の概要は、『参考資料「5. 祐天寺駅周辺地区整備構想の策定に関する取組」(P.43)』に掲載しています。

懇談会・アンケートでの主な意見

【懇談会】

■駅前ロータリーについて

- ・駅前がみどり豊かで、広々していて気持ちが癒される。
- ・駅前ロータリーの歩道幅員が狭い。
- ・駅前ロータリーの改修については、幅広い利害関係者の意見を踏まえ、実施の可否を含めた判断をしてほしい。
- ・駅前ロータリーがイベントやコミュニティの場として有効利用されると良い。

■駐車・駐輪等について

- ・駐輪場・駐車場を増やしてほしい。
- ・自転車レーンを確保して、自転車で移動しやすい街にしてほしい。
- ・オートバイ用の駐車場を増やしてほしい。

【街頭アンケート】

■駅前ロータリーについて

- ・ロータリーを使いやすく改善してほしい。ロータリー内に路上駐車が多いので禁止してほしい。
- ・地域住民による駅前ロータリーの花壇の手入れの負担が大きいと聞いている。
- ・駅前ロータリーは便利なため、改修を行うにしても現在の機能は維持してほしい。

■通過交通・地区内の道路等について

- ・道は入り組んでいるが、歩いて楽しい。
- ・幅員が狭いので、車がスピードを出さなくて安全。
- ・建物を建てる際に必要な4m幅員が良い。
- ・主要生活道路以外で通り抜け可能な道路が少ない。
- ・全ての主要生活道路を拡幅する必要はない。
- ・歩行者と自動車の接触の危険性が高い場所は電線類を地中化してほしい。

■駐車・駐輪等について

- ・駐車禁止なのに、路上駐車があり、ルールが守られていない。

■バス・鉄道等について

- ・バスルートの変更はバスが通行可能な道が他になく、変更は難しいのではないか。
- ・東急バスはイベント時にはバスルートを変えるなどの対応をしている。
- ・急行等の通過駅のため待ち時間が長いので、急行が止まるようにしてほしい。

【共通意見】

■駅前ロータリーについて

- ・タクシー乗降場の増加及び観光バスの発着スペースを確保してほしい。

(3) 交通環境に関する課題

■ 主要生活道路の安全性の確保

- ・自動車と歩行者等の安全な移動環境の確保
- ・バス通り沿いの安全な歩行空間の確保（特に、祐天寺駅前通り（本通り））

■ 駅改修に合わせた駅前広場のあり方の検討

- ・歩行空間の確保による安全性・快適性の向上
- ・駅からバス停までの快適な動線の確保
- ・地域主体の花壇管理の負担軽減
- ・イベントなど社会ニーズへの対応
- ・ロータリーの違法駐車への対応

■ 地域課題に対応した駐車場等の利用方法の検討

- ・自動二輪（バイク）の駐車スペース不足への対応
- ・違法駐車・違法駐輪への対応

■ 総合的な自転車対策

- ・自転車走行環境の整備（自転車ナビマークの整備等）

■ 全体

- ・安全な移動環境の確保

■祐天寺駅周辺地区 街づくりの課題図【土地・建物利用 及び 交通環境】

【土地・建物利用に関する課題】

■ 地区生活拠点にふさわしい
日常的な生活や活動の拠点
の形成

【近隣商業地域】
■ 既存商業施設の
商業環境の変化

- 後継者不足（テナント経営への転換）への対応
- 空き店舗の対策
- 新規業態の出店への対応
- 祐天寺駅周辺に出店する業種の増加（カフェ・雑貨等）への対応
- 新たな商業活動への対応

【第一種中高層住居専用地域】
【第一種住居地域】
【第二種住居地域】

■ 低層建物と中層建物との
混在市街地の形成

- 低層建物と中層建物が共存できる居住環境の形成

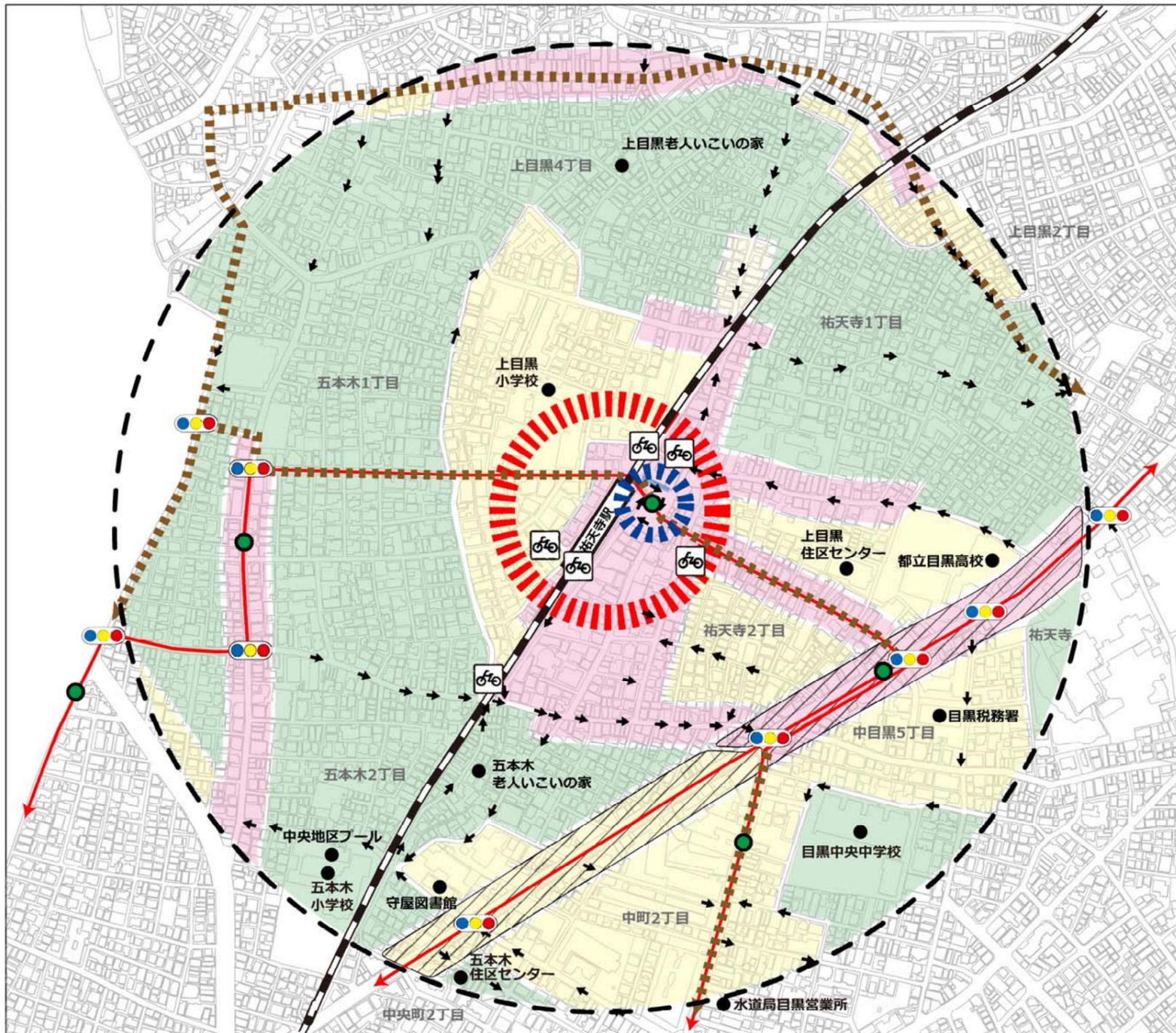
【第一種低層住居専用地域】
■ 敷地分割の進行に伴う
住環境の変化

- 民有地内の緑地の減少への対応

【駒沢通り沿道】
■ 幹線道路沿道にふさわしい
土地建物利用の誘導

- 土地の高度利用化の促進
- 沿道の建物の耐震化・不燃化

※上記の用途地域（【○○地域】）は、『参考資料「1. 目黒区地域地区図（平成30年11月現在）」（P.38）を参照



【交通環境に関する課題】

■ 主要生活道路の安全性の確保
○ 自動車と歩行者等の安全な
移動環境の確保

■ バス通り沿いの安全な歩行
空間の確保

■ 駅改修に合わせた駅前広場
のあり方の検討

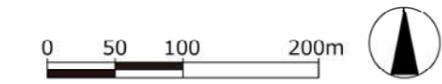
- 歩行空間の確保による安全性・快適性の向上
- 駅からバス停までの快適な動線の確保
- 地域主体の花壇管理の負担軽減
- イベントなど社会ニーズへの対応
- ローターリーの違法駐車への対応

■ 地域課題に対応した駐車場等の
利用方法の検討

- 自動二輪（バイク）の駐車スペース不足への対応
- 違法駐車・違法駐輪への対応

全体

- 自転車走行環境の整備（自転車ナビマークの整備等）
- 安全な移動環境の確保



7. みどり・公園・景観の現状と課題

(1) みどり・公園・景観に関する現状

ア みどり豊かで閑静な住宅地がある一方で、地域全体の緑地は少ない

民有地内に緑地があり、みどり豊かな住宅地が形成されています。しかし、本地区は、地域全体で見た場合、大規模な公園がないことなどから、目黒区の中で緑被率が低い地域になっています。また、相続等により敷地の分割が進むことで、民有地内の緑地が減少しやすい住宅地です。



イ 「祐天寺」や蛇崩川支流緑道、田切公園などの緑地が点在しています

駅の名前の由来にもなった桜の名所である「祐天寺」、みどりのネットワークを形成する蛇崩川支流緑道、田切公園、上目黒住区センター児童遊園及び駅前広場の緑地など地域住民に親しまれる公園もあり、地域住民・来訪者の憩いの場所となっています。

一方、公園規模が小さく、身近な憩いの空間が不足しています。



ウ 坂のある特色ある街並みが形成されています

本地区は、目黒川及び蛇崩川に向かって下る地形となっているため、祐天寺駅の北側及び西側には坂のある特徴的な街並み景観が形成されています。

坂のある地域は、みどり豊かな住環境の形成や、見晴らしの良い眺望点があるなど、貴重な景観です。



エ 様々な業態の集積により商店街の街並みが形成されています

本地区は、近年新たな業態の店舗の出店があり、商店街を形成する店舗構成に変化が生じ、かつ、夜間営業を行う店舗も増加しています。

個々の店舗はデザインに配慮し、賑わいを生み出している一方、一部に空き店舗もみられます。

(2) 地域の声

街頭アンケート等を行いました。アンケート調査等の概要は、『参考資料「5. 祐天寺駅周辺地区整備構想の策定に関する取組」(P.43)』に掲載しています。

懇談会・アンケートでの主な意見

【懇談会】

- ・住宅地の植栽は丁寧な管理がされている。

【街頭アンケート】

- ・緑が増えたら良いと思う。

【共通意見】

- ・もっと木やベンチ等の憩いの場がほしい。

(3) みどり・公園・景観に関する課題

■街並み景観形成

- ・一定の秩序を保ちつつ、個性的な賑わいを感じるデザインの商店集積化

■歩いて楽しめる散策ルートの検討

- ・来訪者の回遊性創出

■起伏のある地形の特徴を活かした街づくり

- ・坂道を活かした景観形成

■「祐天寺」などの地域資源の活用

- ・地域の貴重な文化資源である「祐天寺」などを活用した街づくり

■地区の憩いの拠点となる公園等の利活用

- ・ニーズに対応した公園等の再整備
- ・公園等を核とした地域活動の活性化

■みどりの保全と創出

- ・既存のみどりの保全と新たなみどりの創出

8. 安全・安心（防災・防犯・コミュニティ）の現状と課題

（1）安全・安心（防災・防犯・コミュニティ）に関する現状

ア 延焼の危険性及び消火活動等の困難な住宅地があります

「地震に関する地域危険度測定調査報告書（第8回）【平成30年2月 東京都】によると、祐天寺1丁目、上目黒4丁目は、目黒区の中でも延焼の危険性が高い地域となっています。また、祐天寺1丁目は幅員の狭く長い道路が多く、災害時の消火・救助などの活動が困難な地域です。

イ 駒沢通りや主要生活道路は防災上の重要な役割があります

駒沢通りは、自動車交通に関する地域及び目黒区の重要な幹線道路としての位置づけに加え、災害時における避難路の役割や、沿道建築物の耐震化・不燃化と一体となり火災による延焼を遮る延焼遮断帯としての役割があります。

主要生活道路は、円滑な救援・消防活動や避難の安全性確保など、地区内の防災機能の主軸としての役割があります。

ウ 倒壊の危険性のあるブロック塀が点在しています

本地区内には地震時に倒壊により人的な被害を引き起こす危険性があるブロック塀が点在しています。

エ 商業業態の変化等によるマナーの悪化が指摘されています

夜間営業を行う居酒屋等の飲食店の増加や、祐天寺駅舎の改修に合わせた交番の移設等、環境の変化により、駅前広場付近でのゴミのポイ捨て増加などの指摘があります。

また、犯罪が起きやすいとされている暗がりや、住宅地を中心に残されている箇所があります。

オ 誰もが安心して公共施設へ移動できる移動経路が設定されています

目黒区交通バリアフリー推進基本構想で、広く区民が利用する施設（目黒税務署、守屋図書館、中央地区プール等）や高齢者を対象とする施設へ円滑に移動できるための主要経路が設定されています。

カ 未就学児及び小学生、高齢者が増加しています

本地区は目黒区平均に比べて、やや高齢化が進行している地域です。

また、交通利便性の高い暮らしやすい地域であるため、一時減少していた未就学児や小学生が増加しており、新たな保育園の設置などの子育てしやすい環境づくりへの取組が進められています。

キ 地域活動に参加する人の高齢化が進んでいます

新たな商店や住民が増えていますが、町会・自治会、住区住民会議や商店会等の地域活性化、福祉、防災及び防犯の取組など、既存の地域コミュニティへの参加が限られています。

ク 外国人観光客が増えてきています

全国的に外国人観光客が増えてきています。本地区内にも宿泊施設があり、外国人観光客を見かける機会が増えてきています。

(2) 地域の声

街頭アンケート等を行いました。アンケート調査等の概要は、『参考資料「5. 祐天寺駅周辺地区整備構想の策定に関する取組」(P.43)』に掲載しています。

懇談会・アンケートでの主な意見

【懇談会】

■防災

- ・木造住宅密集地域が解消した災害に強い安全安心な街は、住む観点では重要な視点。
- ・狭あい道路が防災上心配。
- ・地域の防災活動の強化が必要。

■コミュニティ

- ・新しく地域に入ってきた方がコミュニティに入りにくいのかも。新しい会員が増えない。
- ・新住民と昔からの住民とのコミュニケーションがとりにくい。
- ・若い人同士のコミュニケーションが取りにくいようだ。
- ・コミュニケーションが図れば、地域のことをいろいろ知ることができる。
- ・今後は、外国人も含めたコミュニケーションのあり方を考える必要がある。

■マナー

- ・飲み屋が多くなりゴミが増えた。

■その他

- ・バリアフリーを進めてほしい。

【街頭アンケート】

■防犯

- ・子供が多いので、子供の安全を守ってほしい。

■コミュニティ

- ・安心して暮らせる人と人とのコミュニケーションや挨拶ができる街にしてほしい。

■マナー

- ・住宅地のゴミが気になる。また不法投棄の罰則も強力にすべきか。
- ・たばこのポイ捨て、空き缶のポイ捨てが増えてきたのでなんとかしてほしい。

■その他

- ・困った事があった時に、助けてくれる機関が周知されていない。

【共通意見】

■防災

- ・火災などの災害、防災に強い町にしたい。

■防犯

- ・交番が分かりづらくなったので、元の位置に戻してほしい。

(3) 安全・安心（防災・防犯・コミュニティ）に関する課題

■ 地域の防災機能の強化

- ・ 災害時に地域危険度が高い地域の改善
- ・ 駒沢通りの延焼遮断帯及び一般緊急輸送道路[※]としての機能の強化
- ・ 主要生活道路の災害時における避難経路としての機能の確保
- ・ 地震時に倒壊の危険性のあるブロック塀の解消
- ・ 地域避難所の防災機能の強化
- ・ 地域防災組織の活動の強化
- ・ 狭あい道路の拡幅

■ 防犯対策

- ・ 見通しの確保や暗がりの解消等防犯性の向上

■ 誰もが移動しやすい移動環境確保

- ・ 駅から公共施設までの主要経路のアクセスの改善
- ・ 高齢者から子どもまで、誰もが安心して歩ける歩行環境の改善

■ 快適な居住環境への改善

- ・ ゴミのポイ捨て等のマナーの向上
- ・ 交番の存在をより分かりやすくするための改善

■ 高齢化・居住者等の変化に対応した地域コミュニティのあり方の検討

- ・ 地域活動等の活性化
- ・ 地域居住者の交流イベントの検討
- ・ 来訪者の増加への対応

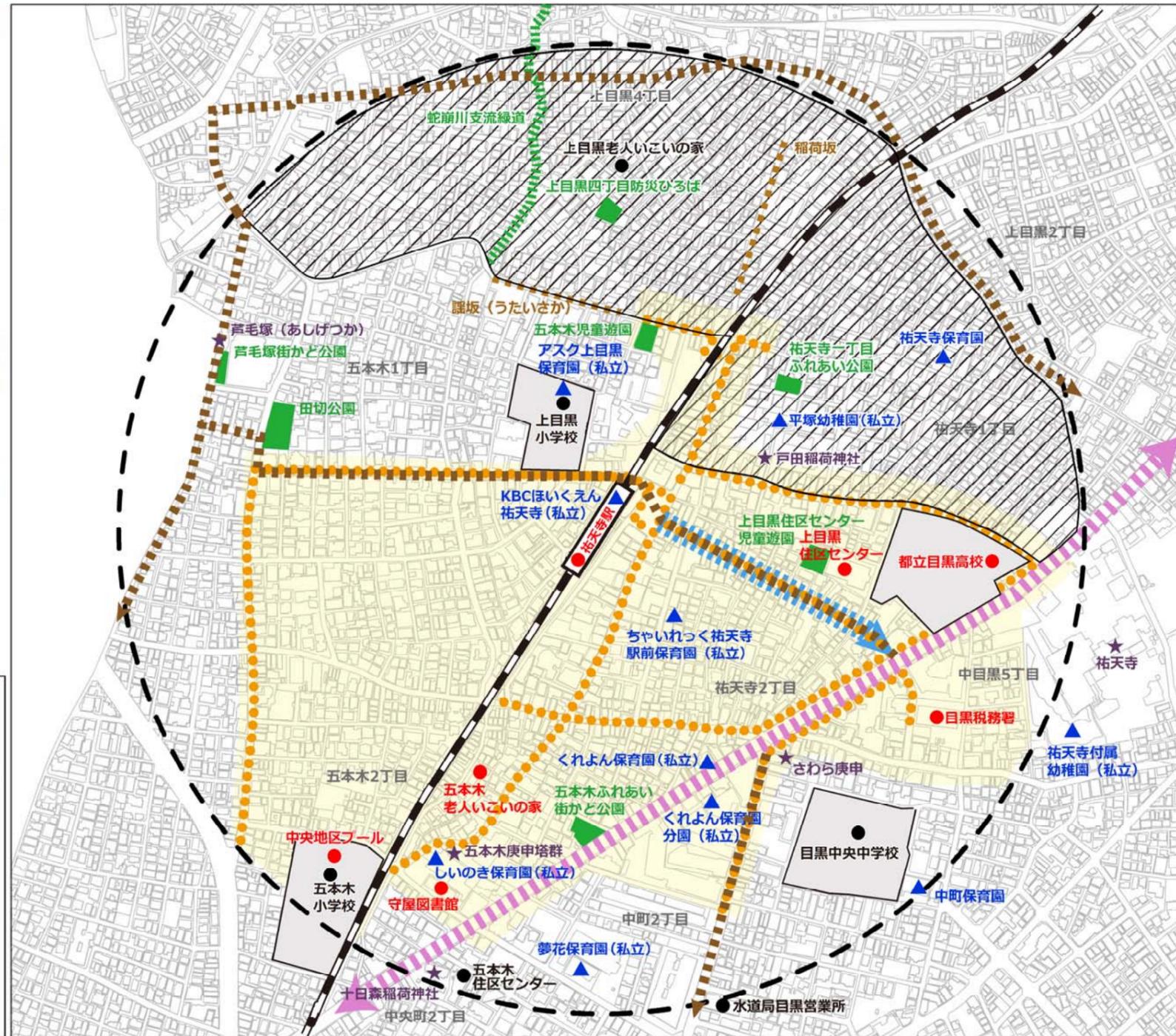
※東京都における緊急輸送道路（延長約2,000km）のうち、特に沿道の建築物の耐震化を推進する必要がある道路を特定緊急輸送道路（延長約1,000km）、特定緊急輸送道路以外の緊急輸送道路を一般緊急輸送道路といいます。

■ 祐天寺駅周辺地区 街づくりの課題図【みどり・公園・景観 及び 安全・安心】

【みどり・公園・景観に関する課題】

- 街並み景観形成
 - 一定の秩序を保ちつつ、個性的な賑わいを感じるデザインの商品集積化
- 起伏のある地形の特徴を活かした街づくり
 - 坂道を活かした景観形成
- 「祐天寺」などの地域資源の活用
 - 地域の貴重な文化資源である「祐天寺」などを活用した街づくり
- 地区の憩いの拠点となる公園等の利活用
 - ニーズに対応した公園等の再整備
 - 公園等を核とした地域活動の活性化
- みどりの保全と創出 全体
 - 既存のみどりの保全と新たなみどりの創出
- 歩いて楽しめる散策ルートの検討
 - 来訪者の回遊性創出

凡例	
	東急東横線
	主要施設 (交通バリアフリー推進基本構想)
	主要施設以外の公共施設
	寺社等歴史資源
	保育園・幼稚園
	公園等
	緑道
	坂道



【安全・安心に関する課題】 ＜＜防災・防犯・コミュニティ＞＞

- 地域の防災機能の強化
 - 地域避難所の防災機能の強化
 - 地域防災組織の活動の強化
 - 災害時に地域危険度が高い地域の改善
 - 延焼遮断帯及び一般緊急輸送道路としての機能の強化
 - 災害時における避難経路としての機能の確保
- 誰もが移動しやすい移動環境確保 (バリアフリー整備地区)
 - 駅から公共施設までの主要経路のアクセスの改善
 - 高齢者から子どもまで、誰もが安心して歩ける歩行環境の改善
- 駅周辺
 - 快適な居住環境への改善
 - ゴミのポイ捨て等のマナーの向上
 - 交番の存在をより分かりやすくするための改善
- 全体
 - 地域の防災機能の強化
 - 地震時に倒壊の危険性のあるブロック塀の解消
 - 狭あい道路の拡幅
 - 防犯対策
 - 見通しの確保や暗がりの解消
 - 高齢化・居住者等の変化に対応した地域コミュニティのあり方の検討等
 - 地域活動等の活性化
 - 地域居住者の交流イベントの検討
 - 来訪者増加への対応

